

地域自殺実態プロフィール 2024

【岐阜県恵那市】

(行政区コード：212105)

推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	高齢者 生活困窮者 勤務・経営 子ども・若者 無職者・失業者
---------	--

- ・「推奨される重点パッケージ」は下記「地域の自殺の特徴」の上位3区分の自殺者の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に「子ども・若者」、「勤務・経営」、「生活困窮者」、「無職者・失業者」、「高齢者」の中から選定している。「ハイリスク地」や「自殺手段」と記載がある場合は、次頁の「地域の自殺の特性の評価」で当該指標が全国で上位10%以内(☆☆)であったことを示す。
- ・「推奨される重点パッケージ」は過去5年の合計に基づいており、経年的な推移(過去5年の増加傾向等)は考慮していない。
- ・地域における優先的な課題となりうる施策について検討する際は、まず目安として「推奨される重点パッケージ」を確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」(人口10万人あたりの自殺死亡率(以下、(人口10万対)と表記)等の数値の全国の市区町村中における相対的な高低をもとに評価している)等、地域自殺実態プロフィールの他の詳細データ等を勘案していただきたい。

■ 1 地域の自殺の特徴

- ・岐阜県恵那市(住居地)の2019～2023年の自殺者数は合計47人(男性32人、女性15人)であった(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・住居地)より集計)。

表1-1 地域の主な自殺者の特徴(2019～2023年合計)〔公表可能〕 <個別集計(自殺日・住居地)>

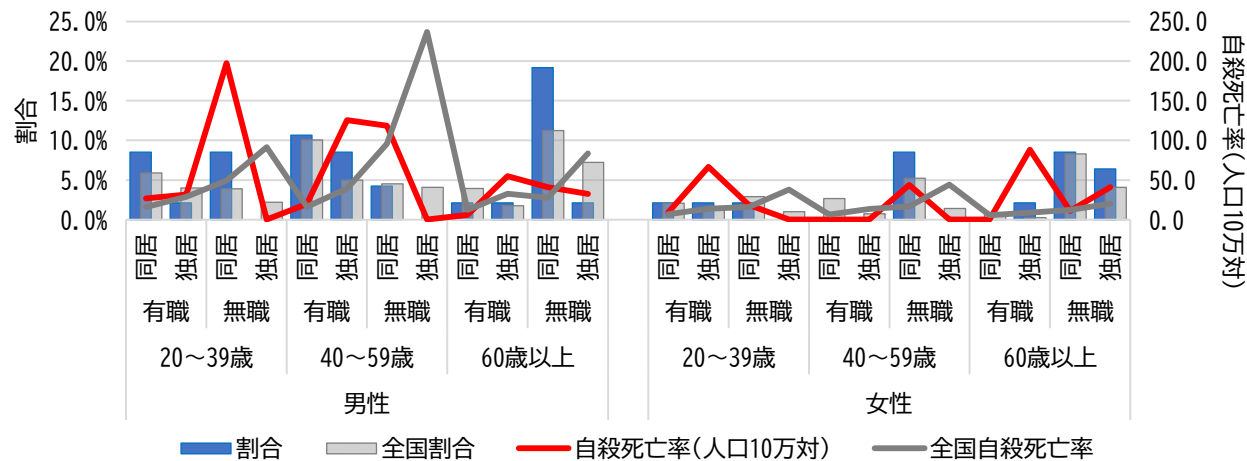
自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (人口10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性60歳以上無職同居	9	19.1%	40.9	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:男性40～59歳有職同居	5	10.6%	19.6	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位:男性20～39歳無職同居	4	8.5%	197.3	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
4位:男性40～59歳有職独居	4	8.5%	125.4	配置転換(昇進/降格含む)→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺
5位:女性40～59歳無職同居	4	8.5%	43.7	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺

資料：警察庁自殺統計原票データをいのち支える自殺対策推進センター(以下、JSCP)にて個別集計・区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

* 自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基にJSCPにて推計したもの。

** 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書2013」を参考に推定したもの(詳細は付表の参考表1参照)。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい。

図1-2 地域の自殺の概要 (2019~2023 年合計) [公表可能] <個別集計 (自殺日・住居地)>



(数表は付表1 及び 2 を参照)

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

■ 2 地域の自殺の特性の評価

表2-1 地域の自殺の特性の評価 (2019~2023 年合計)

	指標値	ランク
総数*1)	19.2	★
男性*1)	26.7	★
女性*1)	11.9	★
20 歳未満*1)	0.0	-
20 歳代*1)	24.3	★a
30 歳代*1)	31.8	★★a
40 歳代*1)	22.5	★a
50 歳代*1)	26.1	★a
60 歳代*1)	11.4	-
70 歳代*1)	19.7	-a
80 歳以上*1)	29.0	★a
若年者(20~39 歳)*1)	28.2	★★
高齢者(70 歳以上)*1)	24.0	★
ハイリスク地*3)	121%/+10	-a
勤務・経営*2)	20.2	★a
無職者・失業者*2)	56.8	★★a
自殺手段*4)	17.0%	-

*1) 地域における自殺の基礎資料に基づく自殺死亡率(人口 10 万対)。

*2) 個別集計に基づく 20~59 歳における自殺死亡率(人口 10 万対)(公表可能)。

*3) 地域における自殺の基礎資料に基づく発見地÷住居地(%)とその差(人)。

*4) 地域における自殺の基礎資料または個別集計に基づく首つり以外の自殺者の割合(%)。自殺手段関連資料(p.6)参照。

・ランク欄に「a」と表示されている場合は、自殺者 1 人の増減でランクが変化することを示す。

・指標値欄に「*」と表示されている場合は、指標を算出していないことを示す。

ランクの標章(詳細は付表の参考表 2 及び 3 参照)

ランク	
★★★/☆☆	上位 10%以内
★★/☆	上位 10~20%
★	上位 20~40%
—	その他
**	評価せず

※ 全国の市区町村における当該指標値に基づく順位を評価した。

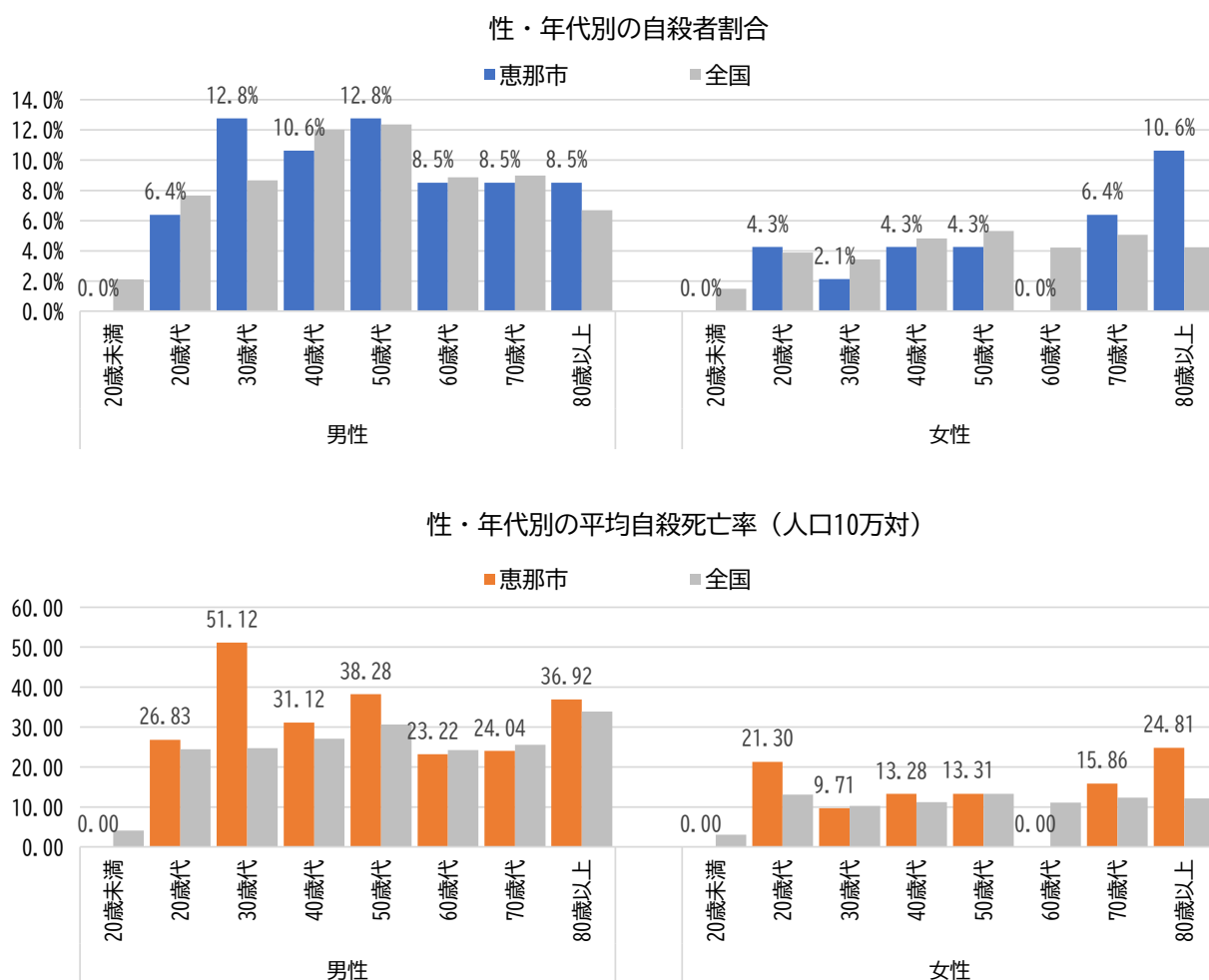
■ 3 全般的な状況

表 3-1 自殺者数および自殺死亡率の推移 (2019~2023 年)

	2019	2020	2021	2022	2023	合計	平均
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺者数	6	12	10	9	10	47	9.4
自殺統計(自殺日・住居地) 自殺死亡率	11.89	24.09	20.37	18.61	21.02	-	19.16
人口動態統計 自殺者数	8	11	12	9	-	-	-

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び厚生労働省「人口動態調査」保管統計表 都道府県編

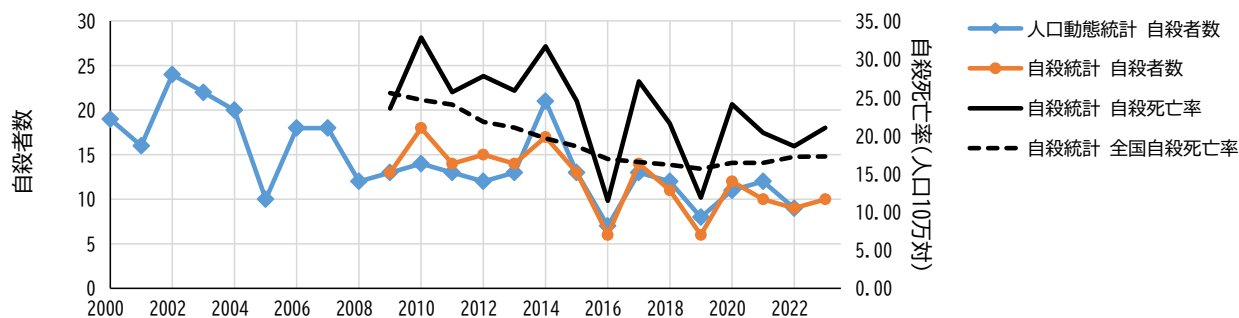
図 3-2 性・年代別の自殺者割合及び平均自殺死亡率 (2019~2023 年) <地域における自殺の基礎資料 (自殺日・住居地) >



(数表は付表3ないし5を参照)

・性・年代別の自殺者割合は、全自殺者に占める割合を示す。

図3-3 自殺者数及び自殺死亡率の長期的推移



(数表は付表6を参照)

■ 4 子ども・若者関連資料

表4-1 自殺者数の学生・生徒等別の内訳 (2019～2023 年合計) <個別集計 (自殺日・住居地) >
※ 斜体は公表不可 (注1・2) (公表する場合は区分を合算し5人以上にすること)

学生・生徒等 (全年齢)	自殺者数	割合	全国割合
中学生以下	0	-	15.1%
高校生	0	-	32.4%
大学生	0	-	41.4%
専修学校生等	0	-	11.0%
合計	0	-	100%

資料：警察庁自殺統計原票データを JSCP にて個別集計

(注1) 各自殺者数の5年合計値が5人未満の場合は斜体としており、公表不可。

(注2) 本表の「中学生以下」「高校生」「大学生」「専修学校生等」のいずれかが5人以上であっても、本表の合計値から、前年各年の各項目(「中学生以下」「高校生」「大学生」「専修学校生等」)の数値が逆算できる場合は斜体としており、公表不可。